

条件付き一般競争入札（事後審査方式）の公告

公 告 日	令和3年7月20日	
工事番号	上水第50号	
工 種	舗装	
工 事 名	興法寺地区舗装本復旧工事	
施工場所	小矢部市 興法寺 地内	
工事完成期限	令和3年10月29日	
工事概要	本復旧（B交通） 943m ² 区画線工 445m	
予定価格	10,620,000 円(消費税及び地方消費税相当額を除く)	
低入札調査基準価格	設定有り 当該基準価格を下回る入札が行われた場合は、落札者の決定を保留し、後日、入札参加者に結果を通知する。	
入札参加資格	本店、支店又は 営業者の所在地	・ 小矢部市内に主たる営業所を有する者 ・ 準市内業者に認定された者
	等級又は総合評価 価値	・ 令和3・4年度小矢部市建設工事入札参加資格者名簿の 舗装工事において登録されている者
	その他	・ 小矢部市条件付き一般競争入札実施要領第3条
入札方法	期間入札	
入札書の提出方法	持参又は郵送	
入札書の提出期間	令和3年7月26日 から 令和3年8月2日 まで 持参の場合の受付時間は市役所開庁日の8時30分～17時15分 郵送の場合は、期日内に指定郵便局必着	
入札書の提出先	総務部財政課	
開札日時	令和3年8月4日 9時54分	
開札場所	小矢部市役所 講堂（4階）	
入札保証金	免除	
契約保証金	納付必要（請負代金額が500万円以上の場合）	
積算内訳書	要（入札時に、入札書と同封して提出）	
入札の無効	小矢部市期間入札実施要領第7条による	
設計図書の配布	小矢部市ホームページ「事業者向け」―「入札案内・資格申請」に掲載 する設計図書を、ダウンロードにより取得する。	
設計図書に対する質問期間	令和3年7月28日	
質問に対する回答期限	令和3年7月30日	

令和3年度

工 事 実 施 設 計 書

工 事 番 号	上水第 50 号					
工 事 名	興法寺地区舗装本復旧工事					
施工箇所	小矢部市 興法寺 地内					
設計費目	款	上水道事業費用	項	営業費用	目	配水及給水費
工期	自	令和3年8月5日	至	令和3年10月29日		
						小矢部市

工 事 概 要		
	・本復旧(B交通)	943 m ²
	・区画線工	445 m
特 記 事 項		
	設 計 額	
工 事 価 格		
消費税相当額		
設 計 金 額		
	小矢部市	

特記仕様書

工事名：興法寺地区舗装本復旧工事

(一般関係)

第1条 一般

この特記仕様書は、「土木工事共通仕様書(富山県土木部)平成29年10月」第1編共通編1-1-2の第6項に基づき、当該工事に必要な事項について定めるものとする。

本工事の施工にあたっては、特記仕様書及び共通仕様書その他、これに付随する関係基準図書等に基づいて適正に施工すること。

第2条 安全教育・訓練の実施

- 1 労働安全衛生法等に基づき日々の安全教育のほか、すべての作業員を対象に、工事現場に即した安全教育・訓練等を、「安全教育・訓練等の実施要領」により、月当たり半日以上頻度で実施するものとする。
- 2 実施項目について「土木工事共通仕様書」第1-1-5条施工計画書の記載事項として「(4)安全管理」に含め、「安全教育・訓練の実施要領」の様式-1により工事の内容に即した安全・訓練等の具体的な計画を作成し、監督職員に提出するものとする。
- 3 安全・訓練等の実施については、「安全教育・訓練等の実施要領」の様式-2により安全教育・訓練等の実施毎に記録写真等を撮影し、監督員及び検査員の請求があった場合は直ちに提示しなければならない。

第3条 工事実施前の措置及び事前事後調査

- 1 既存構造物に接近するとき、又は、撤去する場合には、関係者立会のうえ、現況に写真撮影、測量等の記録をした後、工事施工を行う。
- 2 請負者は、あらかじめ沿道(周辺も含む)構造物等について事前調査を行い、善良な管理義務を怠ったことにより、物件に被害が認められた場合は、請負者が責任を持って処理するものとする。

第4条 測量

- 1 請負者は、契約後指定の基準点に基づきすみやかに必要な測量を行うこと。
- 2 仮B.Mは、位置高さの変動のないよう、適切な保護をすること。
- 3 構造物が設計図書どおり築造できない場合や、設計図書等に記載のないものについては、監督員と協議すること。

第5条 地場産品の優先使用

本工事に使用する資材等は、品質が水準以上であり、かつ価格が適正である場合には県内地産品を優先使用するものとする。

第6条 工事材料の検査

主要材料については、監督員の段階確認を受けて使用するものとする。

第7条 アスファルト混合物

- 1 請負者は、本工事のアスファルト混合物は再生材入りアスファルト混合物を使用するものとする。
- 2 請負者は、上記により難いときは監督員と協議して再生材の混入しないアスファルト混合物（バージン材）を使用してもよい。

第8条 下請け関係の適正化

本工事を下請けに付す場合は、「建設工事の下請関係の適正化に関する留意事項（共通仕様書）」を遵守すること。

平成25年度より、施工体制の明確化、契約約款との整合のため、建設工事における下請負契約は、契約金額にかかわらず下請負届を書面で届出するものとする。

また、平成27年度より、下請企業と建設労働者との関係を正しく認識するため、施工体制台帳、再下請通知書・作業員名簿を下請負届に添付して届出するものとする。

第9条 産業廃棄物の適正処分

本工事から発生する産業廃棄物の処分は、その費用も含め元請業者自らの責任において適正に処理しなければならない。

第10条 低入札となった場合における技術者の増員等

工事に係る入札の結果、調査基準価格に満たない価格をもっと入札した業者が請負者となった場合における技術者の配置については、次に掲げる場合の区分に応じ、それぞれ次に定めるものとする。

（1）建設業法の規定により技術者の専任配置が義務付けられる工事の場合

専任配置が義務付けられている技術者とは別に、同法の規定により監理技術者の配置が義務付けられる工事にあつては監理技術者の資格を有する者を、それ以外の工事にあつては主任技術者になり得る資格を有する者を1人、専任にて配置するものとする。この場合において、これらの工事に配置する技術者は、請負者と3ヶ月以上の雇用関係がある者に限る。

（2）建設業法の規定により技術者の専任配置が義務付けられていない工事の場合

同法の規定により配置が義務付けられている技術者を専任にて配置するものとする。

（工程関係）

第11条 工程関係

工事により通行止めとなる場合、出入りに支障が出る関係者へ工事期間等の説明と協議を行い、要望があつた場合は出来る限り対応すること。また、地元行事がある場合、代表者と協議を行い、施工時期を考慮すること。

（公害対策・環境対策関係）

第12条 公害防止

土砂の搬出等による公道等の路面汚損防止のため、路面が汚れた場合は、直ちに路面清掃を行うものとする。

(安全対策関係)

第 13 条 事故報告及び応急措置

- 1 請負者は、工事中事故があったときは、直ちに所定の措置を講ずるとともに、監督員に通報し、事故発生の原因、経過、事故による被害内容及び今後の対策を講じた事故報告書を提出すること。
- 2 請負者は、施工管理上の落ち度により第三者にあたえた被害について、請負者の負担により、措置を講ずるとともに、その内容を監督員に報告すること。

第 14 条 安全対策

- 1 請負者は、工事期間中、安全管理要員等を配置し、工事区域内全般の巡視、点検、連絡調整等を行い安全確保に努めなければならない。

交通誘導員の有無	配置人数		時間帯	期間	備考
有	A0人	B2人	8：00～17：00	5日	

※ 交通誘導員の算定には「土木工事標準積算基準書（共通編）富山県土木部」【第Ⅰ編第12章その他】における「作業日当り標準作業量」に基づき定めたものであり、「作業日当り標準作業量」に満たない場合における交通誘導員の変更は認めない。

但し、明示した条件に変更が生じた場合は変更理由を明確にし、変更の協議を行うものとする。

【条件変更例】

- ①工事区間、箇所、工期及び設計数量が変更になった場合。
 - ②工事中止命令等により、臨時の措置が必要となった場合。
 - ③地元打合せ、警察協議等で条件を付された場合。
 - ④施工方法による大幅な変更があった場合。
- 2 請負者は、機械器具、不要土砂等を交通及び保安上の障害とならないように使用のつど整備し、又は、現場外へ搬出し、工事現場内は常に整頓しておくこと。
 - 3 市道部において路盤で交通解放する場合は、舗装完了まで常に点検し補足材にて補修すること。
 - 4 国道及び県道においては路盤のまま交通解放は行わないこと。舗装仮復旧後の交通解放を厳守のこと。

(工事用道路関係)

第 15 条 工事用道路関係

- 1 運搬路に使用する道路は破損防止のために出来る限り養生等を行うこと。舗装等の補修が必要になった場合は監督員と協議し、補修しなければならない。

(建設副産物関係)

第 16 条 建設副産物（建設リサイクル法の対象の工事）

- 1 本工事は建設工事に係る資源の再資源化等に関する法律（以下、建設リサイクル法という）の対象建設工事であり、特定建設資材について分別解体等及び再資源化等を実施するものとする。
- 2 請負者は、建設リサイクル法 12 条に基づき、施工計画書に以下の内容を明記し、監督員へ説明するものとする。

- ・解体工事である場合は、解体する建築物等の構造
- ・新築工事等である場合は、使用する特定資材の種類
- ・工事着手時期及び工程の概要
- ・分別解体の概要
- ・解体工事である場合は、解体する建築物等に建設資材の量の見込み

3 本工事における特定資材の再資源化等については、以下の積算条件を設定しているが、工事請負契約書に定める事項は契約締結時に発注者と請負者の間で確認されるものであるため、発注者が積算上条件明示した以下の事項と別の方法であった場合でも変更の対象としない。

ただし、工事発注後に明らかになった事情により、予定した条件により難しい場合は、監督員と協議するものとする。

1) 分別解体等の方法

	工程	作業内容	分別解体の方法 (解体工事のみ)
工程 ごと の 作 業 内 容 及 び 解 体 方 法	①仮設	仮設工事 □有 ■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	②土工	土工事 ■有 □無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	③基礎	基礎工事 □有 ■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	④本体構造	本体構造の工事 □有 ■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	⑤本体付属品	本体付属品の工事 □有 ■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	⑥その他 舗装構造物撤去	その他の工事 ■有 □無	□手作業 ■手作業・機械作業の併用

2) 再資源化等をする特定建設資材廃棄物の種類及び処理量

特定建設資材廃棄物の種類	処理量
コンクリート塊	—
アスファルト塊	84.9m3
建設発生木材	—

4 請負者は、特定建設資材の分別解体・再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法18条に基づき、以下の事項を書面にて記載し、監督員に報告する。なお、書面は「建設リサイクルガイドライン（富山県土木部）」（平成14年6月）に定めた様式1、「再生資源利用計画書（実施書）」及び様式2「再生資源路用促進計画書（実施書）」を兼ねるものとする。

- ・再資源化が完了した年月日
- ・再資源化をした施設の名称及び所在地
- ・再資源化に要した費用

5 請負者は、再資源化施設において適正に処分されていることが確認できる書類（マニフェスト等）を保管しておくこと。監督員からの請求があれば速やかにその写しを提示するものとする。運搬、処理を委託する場合は、産業廃棄物処理業者との委託契約書を監督員に提示するものとする。

第 17 条 再生材の利用

次表の基礎砕石には再生砕石を使用するものとする。品質については、下表の資材は、「コンクリート副産物の再生利用に関する用途別暫定品質基準（案）」に基づくものとする。なお、再生砕石の入手が困難な場合は、監督員と協議のうえ砕石（新材）に変更できるものとする。

工 種	品 種	使用箇所
舗装工	RC-40	下層路盤

（施工関係）

第 18 条 舗装構成

1 舗装構成に関しては、B 交通とする。

第 19 条 工事現場における表示施設（工事看板）

- 1 平成 24 年 6 月 6 日付けの「工事現場における標示施設等の設置基準(案)」の運用について（上下水道課長通知）に基づくこと。
- 2 看板配置図、保安施設図、歩道迂回路図は交通安全計画に記載すること。なお、現地設置後、発注者側より追加及び是正指示があった場合は、速やかに対応すること。

第 20 条 舗装切断作業時に発生する排水の処理

舗装切断作業に伴い、切断機械から発生する排水については、排水吸引機能を有する切断機械等により回収し、適正に処理すること。当該排水の処理に関し、排水量に変更が生じた場合、受注者は排水量等を取りまとめの上、監督員と協議を行い契約変更の対象とする。

（その他）

第 21 条 その他

その他、定めがない事項について疑義が生じた場合は、その都度監督員と協議するものとする。

本工事費内訳表

頁0-0002

	費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
本工事費										X1000	
道路維持										Y1801	
道路土工										Y280112	
掘削工										Y38011201	
掘削										Y4801120104	
掘削 土砂 小規模					式					SP2001 0 A=1, B=5, F=7	
土砂等運搬		38		m3						施工 第0-0001号表 Y4801120105	
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)		38		m3	式					SP2002 0 A=2, B=5, C=1, D=1, M=9	
処分費等										施工 第0-0002号表 #0044	

小 矢 部

本工事費内訳表

頁0-0003

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
公共用残土仮置場（搬入）						TST18 0
	38		m3			
舗装工						Y280113
舗装打換え工						Y38011302
舗装版切断						Y4801130201
			式			
舗装版切断 アスファルト舗装版						SP4028 0 A=1, B=1, E=1
	35		m			施工 第0-0003号表
舗装切断排水運搬費 2tダンプトラック運搬						S5099 0 A=1, B=0. 10, C=35, E=33, F=1, G=1
	1		式			施工 第0-0004号表
舗装版破碎						Y4801130202
			式			
舗装版破碎 アスファルト舗装版 障害等 無し						SP4027 0 A=1, B=1, C=1, D=4, F=1
	943		m2			施工 第0-0005号表
殻運搬						Y4801130203
			式			

小 矢 部

本工事費内訳表

頁0-0004

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
殻運搬 舗装版破碎 機械積込(騒音対策不要、舗装版厚15cm以下)	85	m3				SP2081 0 A=2, B=4, C=1, J=5 施工 第0-0006号表
殻処分			式			Y4801130211
処分費等						#0044
アスファルト廃材処理費	85	m3				TAK96 0
As舗装切断排水	0.1	t				TAC09 0
路盤			式			Y4801130204
不陸整正 補足材料 無し	943	m2				SP4001 0 A=1 施工 第0-0007号表
基層			式			Y4801130206
基層(車道・路肩部) 1層当り平均仕上り厚50mm	943	m2				SP4006 0 A=3, B=50, C=2, D=2, F=1 施工 第0-0008号表

小 矢 部

本工事費内訳表

頁0-0005

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
表層						Y4801130208
表層（車道・路肩部） 1層当り平均仕上り厚50mm			式			SP4007 0 A=3, B=50, C=1, D=1, E=9, G=1
	943		m2			施工 第0-0009号表
区画線工						Y280129
区画線工（溶融式・手動） 実線 15cm						SS002 0 A=1, B=1, C=1, D=1, E=1, G=1, H=2, I=1, J=1
	326		m			施工 第0-0010号表
区画線工（溶融式・手動） 破線 15cm						SS002 0 A=1, B=2, C=1, D=1, E=1, G=1, H=2, I=1, J=1
	119		m			施工 第0-0011号表
仮設工						Y280111
交通管理工						Y38011125
交通誘導警備員						Y4801112501
			式			
交通誘導警備員						S7192 0 A=0, B=2, C=5
	1		式			施工 第0-0012号表

小 矢 部

本工事費内訳表

頁0-0006

	費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
直接工事費											
共通仮設費 (率分)											
共通仮設費計					式						
純工事費											
現場管理費											
現場管理費計					式						
工事原価											
一般管理費等											
工事価格					式						

小 矢 部

本工事費内訳表

費目・工種・施工名称など		数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
消費税等相当額											
					式						
請負対象工事費											
工事価格計											
消費税等相当額計											
					式						
請負対象工事費計											

SP2001

施 工 内 訳 表

施工 第0-0001号表

頁0-0008

[名 称] 掘削			[規格 2] 小規模		
[規格 1] 土砂			1 m3 当り		
機械構成比： 30.52%			標準単価： 1,106.8		
労務構成比： 58.07%			市場単価構成比： 0.00%		
材料構成比： 11.41%					
代 表 機 労 材 規 格	構 成 比	単 価	代 表 機 労 材 規 格 (東京地区)	単 価 (東京地区)	備 考
バックホウ	30.52%		バックホウ		MHH107
特殊運転手	58.07%		運転手 (特殊) 東京単価		R2002
軽油 (パトロール)	11.41%		軽油 東京単価 1. 2号 パトロール給油		T3002
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 F=7 標準			B=5 上記以外 (小規模)		

小 矢 部

施 工 内 訳 表

[名 称] 土砂等運搬			1 m3 当り		
[規格 1] 小規模			[規格 2] 土砂(岩塊・玉石混り土含む)		
機械構成比： 26.28%			労務構成比： 61.34%	材料構成比： 12.38%	市場単価構成比： 0.00%
			標準単価： 1,927.2		
代 表 機 労 材 規 格		構 成 比	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)
ダンプトラック		26.28%		ダンプトラック	M1331
一般運転手		61.34%		運転手 (一般) 東京単価	R2015
軽油 (パトロール)		12.38%		軽油 東京単価 1. 2号 パトロール給油	T3002
積算単価				積算単価	EP001
A=2 C=1 M=9	小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) 7.5km以下			B=5 D=1 バックホウ山積0.28m3(平積0.2m3) DID区間 無し	

SP4028

施 工 内 訳 表

施工 第0-0003号表

頁0-0010

[名 称] 舗装版切断		[規格 1] アスファルト舗装版		[規格 2]		1	m	当り
機械構成比： 6.29%		労務構成比： 54.24%		材料構成比： 39.47%		市場単価構成比： 0.00%		標準単価： 558.1
代 表 機 労 材 規 格		構 成 比	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)		単価(東京地区)		備 考
コンクリートカッタ		4.25%		コンクリートカッタ				M2002
その他(機械)				その他(機械)				EK009
特殊作業員		18.90%		特殊作業員 東京単価				R2005
土木一般世話役 一般施工		9.56%		土木一般世話役 東京単価				R2008
普通作業員		8.20%		普通作業員 東京単価				R2006
その他(労務)				その他(労務)				ER009
ダイヤモンドブレード 径56cm		36.63%		コンクリートカッタ (ブレード) 東京単価 径 2 2 インチ				T3663
ガソリン JIS2号レギュラ		1.92%		ガソリン 東京単価 レギュラー スタンド				T3004
その他(材料)				その他(材料)				EZ009
積算単価				積算単価				EP001
A=1 E=1	アスファルト舗装版 全ての費用			B=1 15cm以下				

小 矢 部

施 工 内 訳 表

[名 称] 舗装切断排水運搬費						1	式	当り
[規格1] 2tダンプトラック運搬						[規格2]		
名 称 ・ 規 格 な ど	数	量	単 位	単	価	金	額	備 考
ダンプトラック運転 (機-22)			日					S1032
単位当り	1		式					
A=1 当初 C=35 舗装版切断延長 1 (m) F=1 DID区間なし				B=0.1 アスファルト又はコンクリートの切断平均深さ t (m) E=33 片道運搬距離 L (km) G=1 良好				

SP4027

施 工 内 訳 表

施工 第0-0005号表

頁0-0012

[名 称] 舗装版破碎			[規格 2] 障害等 無し		
[規格 1] アスファルト舗装版			1 m2 当り		
機械構成比： 9.77%			標準単価： 166.23		
労務構成比： 81.96%			市場単価構成比： 0.00%		
材料構成比： 8.27%					
代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
バックホウ賃料	9.77%		バックホウ (クローラ型) 東京単価 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)		T7275
土木一般世話役 一般施工	29.03%		土木一般世話役 東京単価		R2008
特殊運転手	28.06%		運転手 (特殊) 東京単価		R2002
普通作業員	24.87%		普通作業員 東京単価		R2006
軽油 (パトロール)	8.27%		軽油 東京単価 1.2号 パトロール給油		T3002
積算単価			積算単価		EP001
A=1 アスファルト舗装版 C=1 騒音振動対策 不要 F=1 積込作業 有り			B=1 障害等 無し D=4 15cm以下		

小 矢 部

施 工 内 訳 表

[名 称] 穀運搬			1 m3 当り		
[規格 1] 舗装版破碎			[規格 2] 機械積込(騒音対策不要、舗装版厚15cm以下)		
機械構成比： 47.71%			標準単価： 3,244.9		
労務構成比： 37.09%			市場単価構成比： 0.00%		
材料構成比： 15.20%					
代 表 機 労 材 規 格	構 成 比	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単 価(東京地区)	備 考
ダンプトラック	47.71%		ダンプトラック		M1450
一般運転手	37.09%		運転手 (一般) 東京単価		R2015
軽油 (パトロール)	15.20%		軽油 東京単価 1. 2号 パトロール給油		T3002
積算単価			積算単価		EP001
A=2 舗装版破碎 C=1 DID区間 無し			B=4 機械積込(騒音対策不要、舗装版厚15cm以下) J=5 11.5km以下		

SP4001

施 工 内 訳 表

施工 第0-0007号表

頁0-0014

[名 称] 不陸整正		[規格 2]		1	m2	当り
[規格 1] 補足材料 無し						
機械構成比： 25.93%		労務構成比： 67.07%	材料構成比： 7.00%	市場単価構成比： 0.00%	標準単価：	111.35
代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考	
モータグレーダ	12.79%		モータグレーダ		MHH601	
マカダムローラ	9.91%		マカダムローラ		MHH705	
タイヤローラ賃料	3.23%		タイヤローラ 東京単価 質量8～20 t		T7390	
特殊運転手	42.37%		運転手（特殊） 東京単価		R2002	
特殊作業員	13.03%		特殊作業員 東京単価		R2005	
普通作業員	9.47%		普通作業員 東京単価		R2006	
土木一般世話役 一般施工	2.20%		土木一般世話役 東京単価		R2008	
軽油 (パトロール)	7.00%		軽油 東京単価 1. 2号 パトロール給油		T3002	
積算単価			積算単価		EP001	
A=1 補足材料 無し						

小 矢 部

SP4006

施 工 内 訳 表

施工 第0-0008号表

頁0-0015

[名 称] 基層（車道・路肩部）			1 m2 当り		
[規格 1] 1層当り平均仕上り厚50mm			[規格 2]		
機械構成比： 2.01%			標準単価： 1,477.7		
労務構成比： 15.41%			市場単価構成比： 0.00%		
材料構成比： 82.58%					
代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
アスファルトフィニッシャ賃料 [ホイール型] 舗装幅1.4～3.0m	1.34%		アスファルトフィニッシャ 東京単価 [ホイール型] 舗装幅1.4～3.0m		T7248
振動ローラ賃料	0.27%		振動ローラ（舗装用） 東京単価 [搭乗・コンバインド式] 質量3～4 t		T7284
タイヤローラ賃料 3～4t	0.25%		タイヤローラ 東京単価 質量3～4 t		T7389
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	5.49%		普通作業員 東京単価		R2006
特殊作業員	3.78%		特殊作業員 東京単価		R2005
特殊運転手	3.72%		運転手（特殊） 東京単価		R2002
土木一般世話役 一般施工	1.28%		土木一般世話役 東京単価		R2008
その他(労務)			その他(労務)		ER009
アスファルト合材 再生材入り 粗粒度 AC 20	74.50%		再生アスファルト混合物 東京単価 再生粗粒度AS混合物（20） 平均仕上がり厚 50mm		T3911
アスファルト乳剤 PK-3	7.80%		アスファルト乳剤 東京単価 PK-3 プライムコート用		T3019

小 矢 部

施 工 内 訳 表

[名 称] 基層（車道・路肩部）			1 m2 当り		
[規格 1] 1層当り平均仕上り厚50mm			[規格 2]		
機械構成比： 2.01%			標準単価： 1,477.7		
労務構成比： 15.41%			市場単価構成比： 0.00%		
材料構成比： 82.58%					
代 表 機 労 材 規 格		構 成 比	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区) 備 考
軽油 (パトロール)		0.26%		軽油 東京単価 1. 2号 パトロール給油	T3002
その他(材料)				その他(材料)	EZ009
積算単価				積算単価	EP001
A=3 C=2 F=1	1.4m以上3.0m以下 粗粒度 AC 20 全ての費用			B=50 D=2 1層当り平均仕上り厚 (mm) プライムコート PK-3	

SP4007

施 工 内 訳 表

施工 第0-0009号表

頁0-0017

[名 称] 表層（車道・路肩部）			1 m2 当り		
[規格 1] 1層当り平均仕上り厚50mm			[規格 2]		
機械構成比： 1.91%			標準単価： 1,558.9		
労務構成比： 14.60%			市場単価構成比： 0.00%		
材料構成比： 83.49%					
代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
アスファルトフィニッシャ賃料 [ホイール型] 舗装幅1.4～3.0m	1.27%		アスファルトフィニッシャ 東京単価 [ホイール型] 舗装幅1.4～3.0m		T7248
振動ローラ賃料	0.26%		振動ローラ（舗装用） 東京単価 [搭乗・コンバインド式] 質量3～4 t		T7284
タイヤローラ賃料 3～4t	0.24%		タイヤローラ 東京単価 質量3～4 t		T7389
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	5.21%		普通作業員 東京単価		R2006
特殊作業員	3.58%		特殊作業員 東京単価		R2005
特殊運転手	3.52%		運転手（特殊） 東京単価		R2002
土木一般世話役 一般施工	1.21%		土木一般世話役 東京単価		R2008
その他(労務)			その他(労務)		ER009
アスファルト合材 密粒度 AC 20FH 改質材入り	80.70%		アスファルト混合物 東京単価 密粒度AS混合物（20） 平均仕上がり厚 50mm		T3929
アスファルト乳剤 PK-4	2.52%		アスファルト乳剤 東京単価 PK-4 タックコート用		T3035

小 矢 部

SP4007

施 工 内 訳 表

施工 第0-0009号表

頁0-0018

[名 称] 表層（車道・路肩部）			1 m2 当り		
[規格 1] 1層当り平均仕上り厚50mm			[規格 2]		
機械構成比： 1.91%			標準単価： 1,558.9		
労務構成比： 14.60%			市場単価構成比： 0.00%		
材料構成比： 83.49%					
代 表 機 労 材 規 格	構 成 比	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
軽油 (パトロール)	0.25%		軽油 東京単価 1. 2号 パトロール給油		T3002
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		EP001
A=3 1.4m以上3.0m以下			B=50 1層当り平均仕上り厚 (mm)		
C=1 密粒度アスファルト混合物			D=1 タックコート PK-4		
E=9 密粒度 AC 20FH 改質材入り			G=1 全ての費用		

SS002

施 工 内 訳 表

施工 第0-0010号表

頁0-0019

[名 称] 区画線工 (溶融式・手動)			1000			m	当り
[規格1] 実線 15cm			[規格2]				
名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考		
区画線設置[溶融式][供用区間] 実線15cm 時間制約無 昼間	1,000.00	m			TL401		
路面標示用塗料 白色 溶融型 JIS K5665 3種1号	570.00	kg			T3704		
ガラスビーズ JISR 3301 1号	25.00	kg			T3691		
プライマー 接着用	25.00	kg			T3692		
軽油 (パトロール)		L			T3002		
諸雑費		%			#01		
合計	1,000	m					
単位当り	1	m					
A=1 全ての費用 C=1 15cm E=1 標準 (昼間)			B=1 実線 D=1 時間的制約無し G=1 白色				
H=2 ペイント厚1.5mm J=1 供用区間			I=1 排水性舗装以外				

小 矢 部

SS002

施 工 内 訳 表

施工 第0-0011号表

頁0-0020

[名 称] 区画線工 (溶融式・手動)			1000			m	当り
[規格1] 破線 15cm			[規格2]				
名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考		
区画線設置[溶融式][供用区間] 破線15cm 時間制約無 昼間	1,000.00	m			TL413		
路面標示用塗料 白色 溶融型 JIS K5665 3種1号	570.00	kg			T3704		
ガラスビーズ JISR 3301 1号	25.00	kg			T3691		
プライマー 接着用	25.00	kg			T3692		
軽油 (パトロール)		L			T3002		
諸雑費		%			#01		
合計	1,000	m					
単位当り	1	m					
A=1 全ての費用 C=1 15cm E=1 標準 (昼間)			B=2 破線 D=1 時間的制約無し G=1 白色				
H=2 ペイント厚1.5mm J=1 供用区間			I=1 排水性舗装以外				

小 矢 部

施工内訳表

頁0-0021

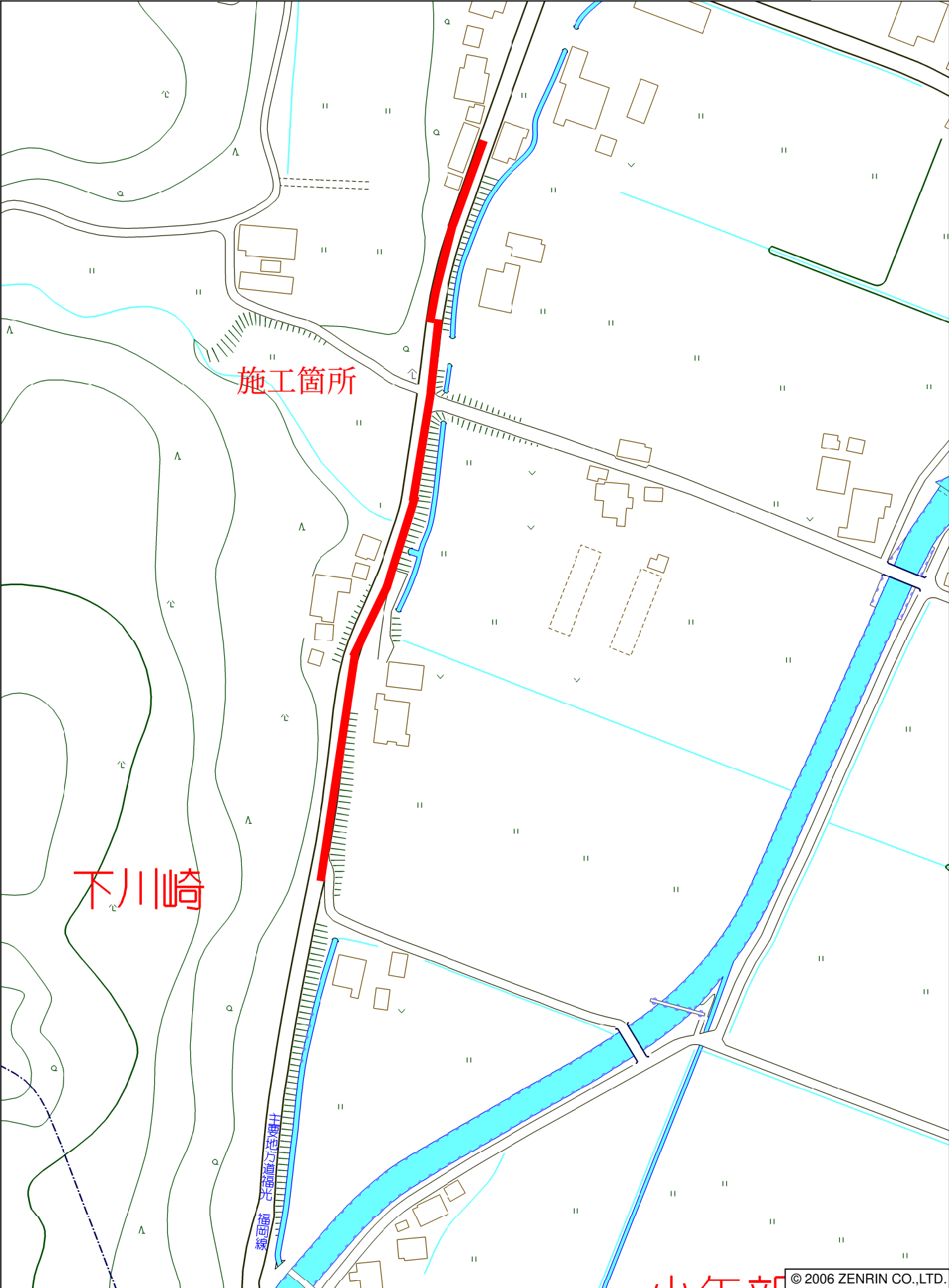
式 当り

[規格 2]

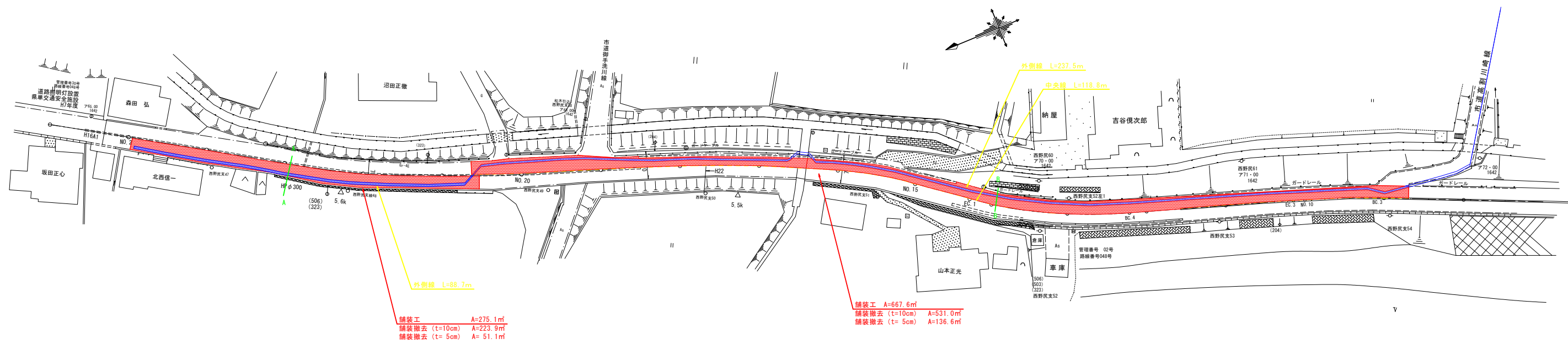
[illegible]

小 矢 部

[illegible]



平面図 S=1/500

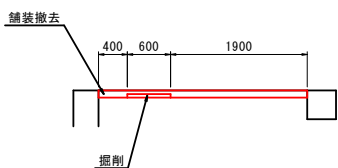


標準断面図 S=1/50

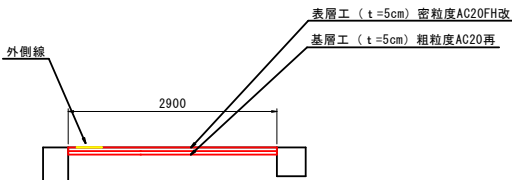
A-A断面

B-B断面

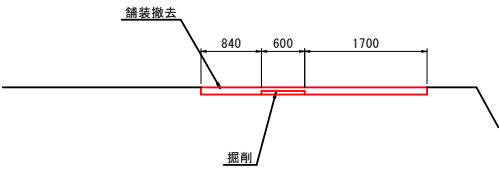
舗装撤去



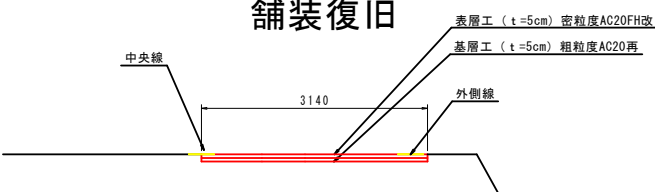
舗装復旧



舗装撤去



舗装復旧



上水50号

令和3年度			
工 事 名	興法寺地区舗装本復旧工事		
図 面	平面図 A1/横		
工 事 場 所	小矢部市 興法寺 地内		
縮 尺	平 面 1/500	縦 断: 縦 横	全1葉の内1
作成年月日	令和3年7月		
小矢部市上下水道課			